



さまざまなお客様のニーズに、心をこめて対応します」

梱包資材商社として、顧客からの多岐にわたるニーズに応えているタチバナ商事(株)。時代に合わせて変わり続ける同社の「今」を支える経営理念について、徳岡浩史社長にうかがいました。

「時

々、お客様から『本業は何でしょう?』と聞かれることもありますよ」と笑って話すのは、タチバナ商事(株)の徳岡浩史社長。2012年に社長に就任した、若きリーダーです。

「父が1975年に創業し、私が受け継ぎました。その際に経営理念も新しくしましたが、内容は父から受け継いだことです」顧客、社員、地域社会に奉仕する精神を、わかりやすく打ち出しています。

「毎朝の朝礼で、経営理念や行動指針を唱和しています。また定期的に開催している全体会議でも毎回必ず唱和し、社員への浸透を図っています」また「笑顔で元気に明るくあいさつ、雰囲気づくり努めます」「ピンチはチャンス前向きに」など8項目からなる行動指針も、徳岡社長の代になって定めたものです。

徳岡社長によれば、行動指針は「社員全員参加で話し合っ

て決めました」とのこと。自分たちが決めた指針だけに、皆が自分のものとして感じているようです。それに加えて毎日唱和していますから、社員全員の共有財産になっていると言ってもよいでしょう。

同社では、企業理念と行動指針を印刷したカードを作り、社員全員が持ち歩いています。裏面には「タチバナ商事の魅力を活かすために!!」と題して、

同社の優れた面をさらに伸ばすためのポイントが16項目、印刷されています。一つひとつは企業人として当たり前のことでも、すべてできる人は多くはないでしょう。社員が自分の弱点を克服するためのチェックポイントとして、有効に活用できそうです。同社は豊富な経験を活かしてお客様にパッケージングを提案する「トータルパッケージング」により、一歩進んだ顧客満足を提供しています。

また同社の取扱商品の幅の広さは、顧客企業から信頼されている証でもあります。

「私どもにはお取引が長いお客様が多いので、いろいろなことをご相談されます。それに対応するうちに、ラインナップもサービス内容もどんどん広がっていききました」と話す徳岡社長。「わが社は先代の時代から

アジアに進出しています。マレーシアには合弁企業もあります。少しでも良いものを、少しでも安くご提供するために、常に頑張っています」

また同社では、3年ほど前にレーザー加工機械とUV印刷機を導入し、「タチバナ工房」としてノベルティなどを制作しています。梱包資材商社だけでなく、核になるビジネスを増やすことで、将来の生き残りをめざしています。

「現在考えているのは、包装資材の他にノベルティ製造販売と防災関連(カンパン、モバイルバッテリーなど)商品販売で、会社の3本柱とすることです。行政や企業、団体など、幅広い顧客層にアピールし、ご満足いただけるサービスをめざします」

経営理念

『愛・感謝・心あるサービス』

1. 社会の人々に『愛』される会社になります
2. お取引様、社員、社会に『感謝』される会社になります
3. 社員全員がお取引様立場に立った『心あるサービス』を行います

Information

タチバナ商事株式会社
代表取締役社長 徳岡 浩史
創業/1975年
所在地/〈本社〉宇都宮市駒生町855-5
☎ 028-624-3251
☎ 028-624-0012
http://tachibanacorp.co.jp

タチバナ商事株式会社
代表取締役社長 徳岡 浩史さん

